



最近の朝日町は、何かと話題も多く、移住・定住促進や、住んで良かった朝日町を指して、町内外からの『人』の交流や呼び込みへの取り組みに力を注いでおられて、自然のフィールドを利活用したイベントなども盛んに企画しつつ、大変活気を感じておきていることを実感しております。

朝日岳と朝日小屋は、変わらぬ姿でこれからも町民の皆様可愛がってもらいながら、ぜひ朝日の発展にも微力ながら貢献できるような道筋を模索しつつ、私も仕事に励んでいきたいと思っております。



今回、朝日岳と朝日小屋の様々な様子をリサーチしてくださった協力隊の皆さんにお礼を申し上げます。これからも、これからはお互いに頑張りましょう。

県内外から小屋閉めに集まった有志達



朝日小屋はたくさんのステキな出会いが出来る場所であり『恋の花咲く朝日小屋』という別名もあります。今年もまた一つ、恋の花が咲きました

朝日岳に通う



朝日岳方面遭難対策協議会 山岳救助隊 副隊長 大和徳明

私は、年間朝日岳に登るといふか朝日小屋まで登る回数はかなり多い方だと思えます。6月の小屋明け前の偵察登山から始まり、小屋開けの手伝い、朝日岳山開き登山会、夏山シーズン前を前にしての夏山事前パトロール、そして、夏山パトロール、小屋閉めの手伝いなどが、その主な内容ですが、最近では体力維持の自主トレーニングの一環としてトレイルランニングによる日帰り登山なども行っています。今年も日帰り1回を含めて、計6回朝日岳に登りました。確か昨年は9回です。この回数だけ朝日岳に登る人は、小屋の従業員などの関係者の他にいないのではないかと思われるかもしれません。実はもっとすごい人達がたくさんいます。

朝日小屋用語でいうところの週末従業員あるいはエプロン部隊と呼ばれる人たちです。彼らは毎週末ごとに朝日小屋まで上がってきては、小屋の手伝いに来ます。朝日岳周辺の自然を愛し、朝日小屋を守ってほしいという気持ちだけで彼らは毎週のように長い道のりを登ってくるのです。朝日小屋の管理人、清水ゆかりさんの魅力もあるでしょう。それだけ、朝日小屋は一度来た人を魅了するのです。朝日町に住んでいるけど、まだ朝日岳に登ったことがないという方は、一度は朝日小屋に泊まってみましょう。あたたかいおもてなしが待っていますよ。

今回お伝えしきれなかった小屋閉めの様子などは来月号でたくさんの写真と共にお伝えしたいと思います！！

今回この新聞に寄稿いただいた清水さん、大和さんにお礼申し上げます。

■発行・問い合わせ ■ 朝日町地域おこし協力隊 TEL0765-83-1100